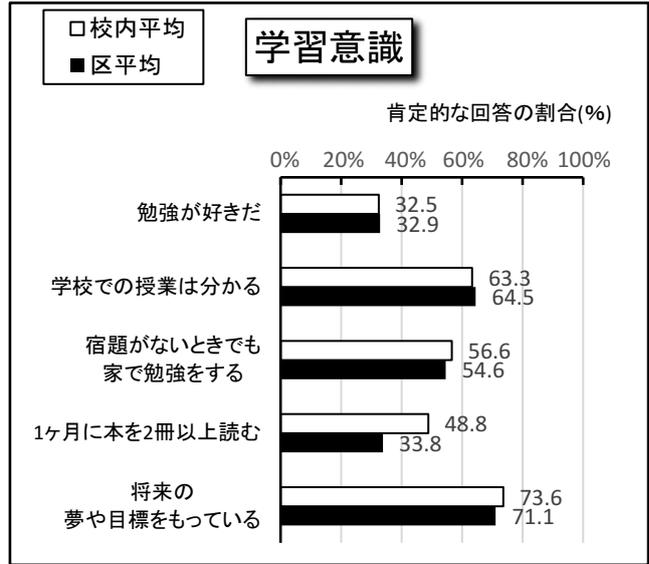
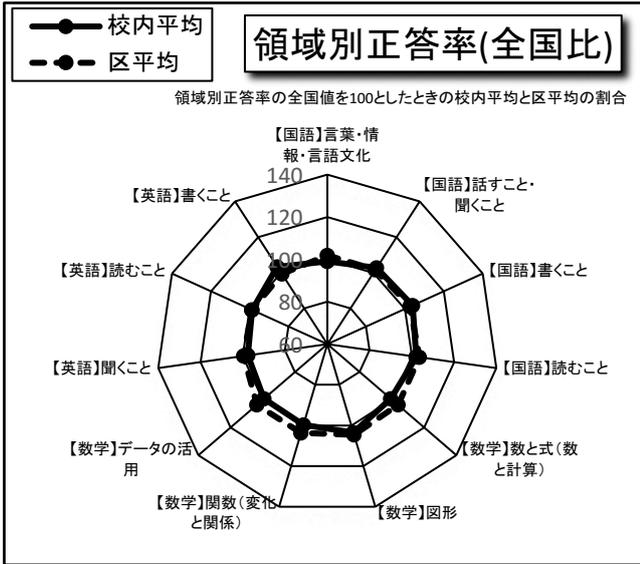


東島根中学校



	学校全体			1年			2年			3年		
	国語	数学	英語									
目標値(R6)				53.1	55.6	80.8	60.2	41.8	51.5	68.2	40.1	52.6
通過率(R6)	70.4	64.6	68.4	76.1	68.5	81.5	79.3	63.4	57.4	54.2	61.4	66.3
目標値(R5)				67.1	56.4	65.5	66.0	41.2	57.1	71.6	40.5	55.6
通過率(R5)	70.6	65.8	69.4	71.0	75.2	77.2	78.8	71.8	68.2	62.8	50.5	62.1
平均正答率(R6)	67.8	53.9	65.1	63.0	65.9	84.9	72.2	48.8	55.3	68.2	45.0	62.2
平均正答率(R5)	75.9	56.3	66.0	74.7	71.4	73.5	77.2	52.1	64.8	75.9	42.7	62.1

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]

◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値

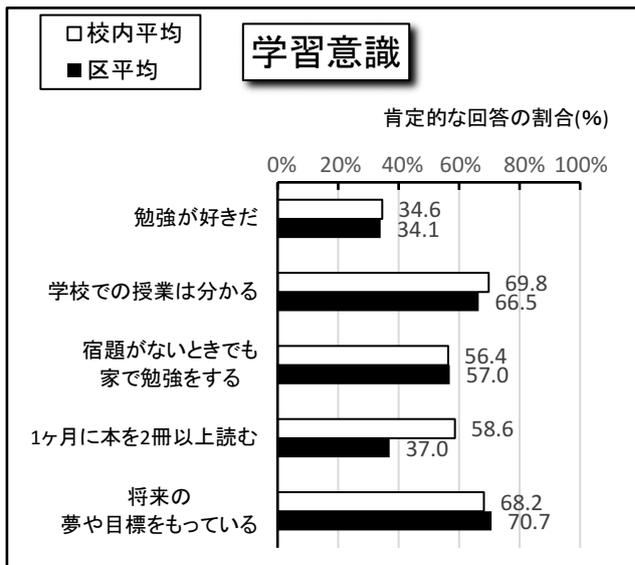
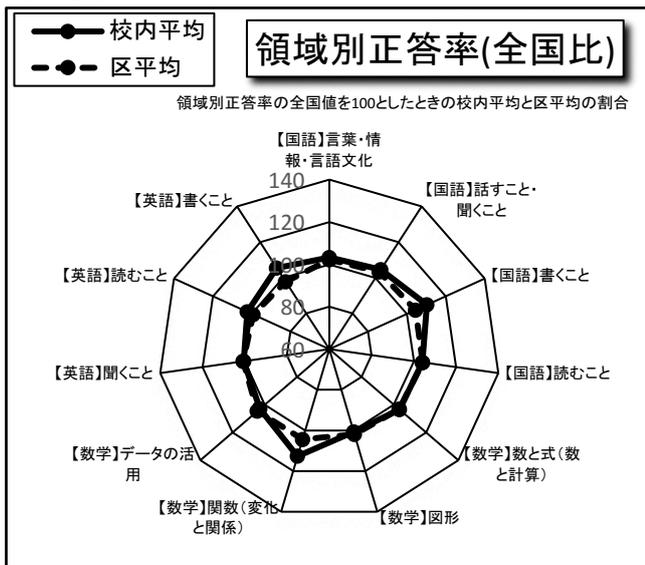
「学習定着度調査」分析結果

- ◆令和6年度の通過率は令和5年度の結果と比べ、学校全体では国語で0.2ポイント、数学で1.2ポイント、英語で1.0ポイント下回った。また、平均正答率は、国語で8.1ポイント、数学では2.4ポイント、英語では0.9ポイント下回った。
- ◆1年生の通過率については、令和6年度は数学で令和5年度の結果を下回ったが、国語と英語は上回った。平均正答率は、英語で11.4ポイント令和5年度を上回り、国語で11.7ポイント、数学で5.5ポイント下回った。
- ◆2年生の通過率については、令和6年度は数学、英語で令和5年度を下回ったが、国語では上回った。平均正答率は、国語で5.0ポイント、数学で3.3ポイント、英語で9.5ポイント下回った。
- ◆3年生の通過率については、令和6年度は国語は令和5年度を下回ったが、数学と英語は上回った。平均正答率は、数学で2.3ポイント、英語で0.1ポイント上回り、国語で7.7ポイント下回った。
- ◆今回の分析結果から、1年生と2年生の目標値に対する平均正答率や通過率は下降傾向にあり、3年生の目標値に対する平均正答率や通過率は上昇傾向にある。1年生の英語は、目標値に対する平均正答率が下降しているものの通過率が上昇していることから、得点分布に大きな乖離が生じていると考えられる。

学校による学力向上への主な取り組み

- ◆家庭学習の取り組みとして、授業の振り返りを行うために、毎日2ページずつ家庭学習ノートを活用し、できなかった内容の克服や重要ポイントの復習を図る。
- ◆朝補習として、木曜日以外の毎朝、20分間の学力補充教室を全学年で実施する。対象生徒を15人前後に絞り、プリント学習を中心とした授業の復習や演習を行う。
- ◆長期休業中の課題として、A Iドリルを有効活用する。また、長期休業中の学力補充教室への参加を呼びかけ、国語、数学、英語の3教科を中心に、プリントによる課題やA Iドリルを活用した補習を実施して、基礎学力の向上を図る。

東島根中学校



	学校全体			1年			2年			3年		
	国語	数学	英語									
目標値(R5)				67.1	56.4	65.5	66.0	41.2	57.1	71.6	40.5	55.6
通過率(R5)	70.6	65.8	69.4	71.0	75.2	77.2	78.8	71.8	68.2	62.8	50.5	62.1
目標値(R4)				65.7	58.7	81.0	61.2	52.0	51.3	68.7	46.1	53.0
通過率(R4)	63.3	59.3	56.0	69.3	63.6	62.5	70.8	61.5	50.0	52.6	54.3	56.0
平均正答率(R5)	75.9	56.3	66.0	74.7	71.4	73.5	77.2	52.1	64.8	75.9	42.7	62.1
平均正答率(R4)	69.5	54.8	61.1	72.4	60.6	85.3	70.2	58.3	52.0	66.8	47.3	57.2

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]

◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値)

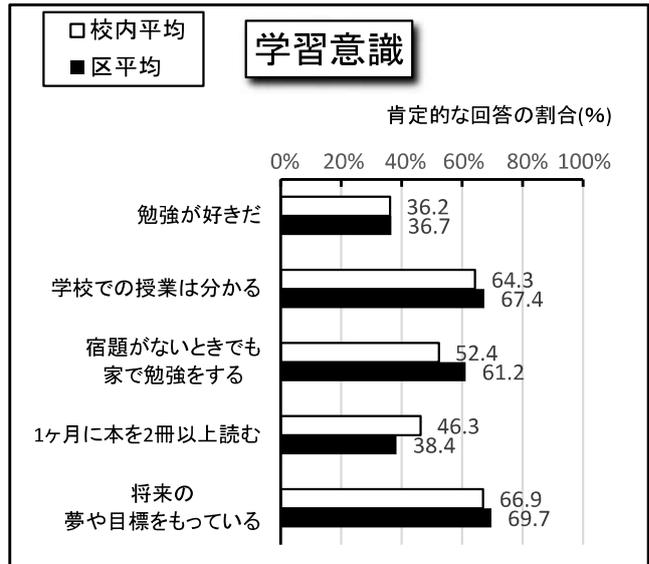
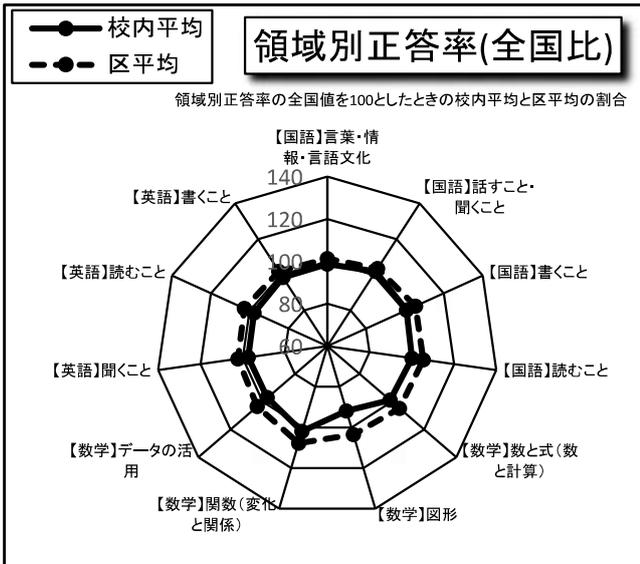
「学習定着度調査」分析結果

- ◆令和5年度の通過率は令和4年度の結果と比べ、学校全体では国語で+7.3ポイント、数学で+6.5ポイント、英語で+13.4ポイント上回った。また平均正答率は国語で+6.4ポイント、数学で+1.5、英語で+4.9ポイント上回った。
- ◆1年生の通過率については、令和5年度は国語、数学、英語の3教科それぞれで、令和4年度の結果をすべて上回った。平均正答率では国語で+2.3ポイント、数学で+10.8ポイント令和4年度を上回り、英語で-11.8ポイント下回った。
- ◆2年生の通過率については、令和5年度は国語、数学、英語の3教科それぞれで、令和4年度の結果をすべて上回った。平均正答率では、国語、英語で令和4年度を+7.0ポイント、+12.8ポイント上回り、数学で-6.2ポイント下回った。
- ◆3年生の通過率については、令和5年度は国語、英語は令和4年度を上回ったが、数学では-3.8ポイント下回った。平均正答率では、国語、英語で令和4年度を+9.1ポイント、+4.9ポイント上回り、数学で-4.6ポイント下回った。
- ◆今回の分析結果から、全学年に渡り通過率と平均正答率は概ね上昇傾向にある。

学校による学力向上への主な取り組み

- ◆家庭学習の取り組みとして、授業の振り返りを行うために、毎日2ページずつ家庭学習ノートを活用し、できなかった内容の克服や重要ポイントの復習を図る。
- ◆朝補習として、木曜日以外の毎朝、20分間の学力補充教室を全学年で実施する。対象生徒を15人前後に絞り、プリント学習を中心とした授業の復習や演習を行う。
- ◆長期休業中の課題として、A Iドリルを有効活用する。また、長期休業中の学力補充教室への参加を呼びかけ、国語、数学、英語の3教科を中心に、プリントによる課題やA Iドリルを活用した補習を実施して、基礎学力の向上を図る。

東島根中学校



	学校全体			1年			2年			3年		
	国語	数学	英語									
目標値(R4)				65.7	58.7	81.0	61.2	52.0	51.3	68.7	46.1	53.0
通過率(R4)	63.3	59.3	56.0	69.3	63.6	62.5	70.8	61.5	50.0	52.6	54.3	56.0
目標値(R3)				62.9	58.3	77.5	60.8	48.0	59.2	68.4	48.2	52.6
通過率(R3)	64.8	59.5	59.5	70.6	71.6	69.6	66.7	53.8	45.3	56.9	53.9	65.7
平均正答率(R4)	69.5	54.8	61.1	72.4	60.6	85.3	70.2	58.3	52.0	66.8	47.3	57.2
平均正答率(R3)	68.6	55.2	64.7	68.4	66.5	83.5	67.3	48.8	56.6	70.4	50.7	62.1

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]

◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値)

「学習定着度調査」分析結果

- ◆令和4年度の通過率は、令和3年度の結果と比べ、学校全体では国語で-1.5ポイント、数学で-0.2ポイント、英語で-3.5ポイント下回った。また、平均正答率は、国語で+0.9ポイント上回ったが、数学、英語では-0.4ポイント、-3.6ポイント下回った。
- ◆1年生の通過率については、令和4年度は国語、数学、英語の3教科それぞれで、令和3年度の結果をすべて下回った。平均正答率では国語+4.0、英語+1.8ポイント令和3年度を上回り、数学は-5.9ポイント下回った。
- ◆2年生の通過率については、令和4年度は国語、数学、英語の3教科それぞれで、令和3年度の結果をすべて上回った。平均正答率では、国語+2.9ポイント、数学9.5ポイント令和3年度を上回り、英語は-4.6ポイント下回った。
- ◆3年生の通過率については、令和4年度は国語、英語は令和3年度を下回ったが、数学では+0.4ポイント上回った。平均正答率では、国語-3.6ポイント、数学-3.4ポイント、英語-4.9ポイント下回った。
- ◆今回の分析結果から、2年生の通過率と平均正答率は上昇傾向にあり、1年生の通過率及び3年生の通過率と平均正答率は下降傾向にあることがわかった。

学校による学力向上への主な取り組み

- ◆家庭学習の取り組みとして、授業の振り返りを行うために、毎日2ページずつ家庭学習ノートを活用し、できなかった内容の克服や重要ポイントの復習を図る。
- ◆朝補習として、木曜日以外の毎朝、20分間の学力補充教室を全学年で実施する。対象生徒を15人前後に絞り、プリント学習を中心とした授業の復習や演習を行う。
- ◆長期休業中の課題として、A Iドリルを有効活用する。また、長期休業中の学力補充教室への参加を呼びかけ、国語、数学、英語の3教科を中心に、プリントによる課題やA Iドリルを活用した補習を実施して、基礎学力の向上を図る。